

IRB番号「2022-GB-111」

研究課題名「門脈合併切除を要する進行膵体部癌に対する至適術式選択の検討」

1. 研究の対象

西暦2005年1月1日から西暦2020年3月31日までにがん研有明病院肝胆膵外科で膵癌に対して膵切除・門脈合併切除手術を行った患者

2. 研究の目的・方法

多剤併用化学療法の進歩に伴い、膵癌に対する外科治療の適応は年々拡大している。当科では膵頭部癌に対する膵頭十二指腸切除術(pancreaticoduodenectomy, PD)＋門脈合併切除(portal vein resection, PVR)を積極的に行ってきたが、PVRを要する進行膵体部癌は腹腔動脈系の主要血管に接触・浸潤を伴うことが多く、安全なR0切除の難易度が高いため術式選択に難渋する症例に遭遇する。PDは膵体尾部切除(distal pancreatectomy, DP)と比較して切除臓器数や消化管吻合が多く侵襲が大きいと考えられる一方で、DP＋PVRは膵頭部が残ったままの門脈再建となるためより高度な技術を要し、術後の門脈吻合部への膵液漏暴露リスクも高い。本研究ではPVRを要する膵体部癌膵切除を後方視的に検討し、至適術式選択を確立した。

3. 研究期間

承認日 ～ 2024年03月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように研究対象者に符号もしくは番号を付与し、対応表を作成することで適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。

情報：① 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報、臨床病期、合併症を含む治療経過）
② 血液所見（CBC、白血球分画、肝腎機能、腫瘍マーカー、他）
③ 画像所見（CT、MRI、他）
④ 病理学的所見
⑤ 治療（手術日、手術詳細、術前・術後化学療法、他）
⑥ 治療反応性・予後

試料：なし

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人 がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者 肝胆膵外科 部長 高橋 祐
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表) FAX番号03-3520-0141

研究責任者：

公益財団法人 がん研究会有明病院

がん研究会 情報公開文書

単施設研究用

〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号

研究責任者 肝胆膵外科 部長 高橋 祐

連絡先：電話番号03-3520-0111(代表) FAX番号03-3520-0141